

メッセージ題「離れない」 <先週の講壇より>

「昼は雲の柱、夜は火の柱が、民の前から離れなかった。」エジプト 13:22 【口語訳】

我が家の二人の娘たちはそれぞれ成長し、もう就職をしています。彼女たちが子供だった時は、私たち夫婦は手分けして学校への送迎をしていたことを思い起こします。そして高校生になった頃には、バスに乗って自分たちで登校するようになりました。最初にそのバスに乗って行く時は、親としてもう心配で、「バス停まで送って行くよ」と言いましたが、「大丈夫だよ、もう高校生なんだから」とそっけなく断られ・・・でも実はそれでも心配で、登校するために家を出た娘たちの後を私たち夫婦でそっと尾行していき、気づかれないようにずっと見守り、無事にバスに乗るのを見届けて、ようやく安心したと、こういうことがありました。ちょっと親バカだったかも知れませんが、でもどこの親も心境としては似たようなものでしょう。

あの出エジプトした民を、神様は見守り、決して離れずにいてくださった。しかも私たち夫婦のようにそっと見守ったのではなく、昼は雲の柱として、そして夜は火の柱として、大胆にしっかりと存在を示し、守り、導いてくださったのです。この神様は、今もあなたと共にいてくださる。決して離れることなく、人生を導き続けてくださいます。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2022 年 8 月 21 日

オレンジ郡  
キリスト教会

礼拝：9時半～  
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

エレミヤ 29 : 11

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40  
ブレイク : 10:45-11:00  
バイスタ : 11:00-12:00  
みふみ会 : (水) 10:00-  
定例祈祷会 : (水) 18:30-

